



Weekly Report



第2287回例会 2019年10月16日 国際ロータリー第2580地区

2019~20年度R I 会長マークダニエルロニー 2580地区ガバナー 新本博司(那覇)

武蔵村山RC
第48代クラブ会長
嶋田 哲男

東京武蔵村山RC テーマ

「笑顔と和の心でロータリーを成長させよう」

本日の例会

2019~20年度R I テーマ

次回の例会

「日本語のオマハ[®] 及び日中異文化」

徐 倩 様 (ジ ジエイ様)



デエダラまつり

10/19(土)・10/20(日)

【第2286回例会週報】2019年10月9日(水)

司会 比留間 一義 会場運営委員

点鐘 嶋田 哲男 会長



齊唱

奉仕の理想
ソングリーダー
田中 伸彦 会員

来客紹介

- 吉田 和敏 様
(卓話講師・日本ボクシングコミッショントライベッカー会長・東京足立RC)
- 吉田 博子 様 (令夫人)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
31名	21名	89.66%	なし

○事前マークアップ

内野 均 会員	(多摩分区親睦ゴルフ)
宮崎 正巳 会員	{ //
荒井 孝育 会員	{ //
阿久津 圭吾 会員	{ //
藤野 豊 会員	(RLIハートファシリテーター)

○出席免除会員

宮崎 恒夫 会員、榎本 昭 会員

会務報告 嶋田 哲男 会長

○2019年9月台風15号災害支援金のお願いが届いております。〆切11/29

○「意義ある奉仕賞」申請案内

- ・地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する「意義ある奉仕賞」に申請するクラブはオンラインで手続きをし、その後、地区選考を経て受賞クラブが選ばれます。

○地区拡大増強委員会ご案内

- ・日時：10/29(火) 16時～17時30
- ・会場：ハイアットリージェンシー東京5F
- ・登録料：3,500円(当日)

○RL I パートⅡ(立川開催)

- ・日時：11/20(水) 9時登録
- ・会場：立川グランドホテル

○RL I パートⅢ

- ・日時：11/6(水) 9時登録
- ・会場：ホテルグランドパレス

○ハワイ国際大会募集ツアーご案内がエス・プランナーより届いております。

○地区大会のチラシとツアーのご案内各自メールBOXにお入れしております。

○地区大会登録書類が届いております。

- ・10/31までに登録すると会員12,000円⇒10,000円と早期登録割引が適用されます。

○ロータリー100周年記念ピンバッジが届きました。各自メールBOXに入れてあります。

幹事報告 佐藤 貢 幹事

○ございません。

委員会報告

○情報委員会／倉内 淳 委員長

・10/19(土)・20(日)

村山デエダラまつり参加について

集合時間 情報委員会・社会奉仕委員会

8:30 以外の会員9:00

集合場所 会場 ロータリーテント前

○地区RLI講習について

・第2回RLI研修パートⅡ 11/20(水)

立川グランツホテルにて開催

一人でも多くの参加をお願いします。

○プログラム委員会/波多野 晃夫 委員長

・10・11月の例会スケジュールの確認

*10/23 例会は、

10/19(土)・20(日) 村山デエダラまつりへ振替

*10/30 例会は、

10/31(木) 多摩分区 I・Mへ振替

*11/13 例会は、夜間例会

*11/20 例会は、

11/17(日) 少年野球大会へ振替

※変則的な日程がつづきますのでお間違えのないようにお願ひいたします。

○ゴルフ部

・10/4(金) 多摩分区親睦ゴルフコンペが開催されました。

当クラブの成績は第3位でした。ありがとうございました。

・当クラブの親睦ゴルフコンペの今後の予定は来年ご連絡したいと思います。

○田中 伸彦 会員

・自社フィリピン工場の進捗状況について順調に建設が進み、材料の入荷がはじまれば製造が開始出来る段階になりました。皆さんに大変ご迷惑をお掛けしていましたので、ご報告させていただきます。



ニコニコBOX

(前川 優大 親睦委員)

*嶋田哲男会長・佐藤貢幹事⇒吉田和敏様、博子様
本日の卓話楽しみにしていました。RLI参加の皆様お疲れ様でした。

*田中伸彦会員⇒今年から動いていたフィリピン工場が今週から稼働が始まりました。これでちょっと安心です。

妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。
当日は日本に帰って来れるかな?って感じです。

*比留間孝司会員⇒吉田和敏様、奥様 本日も卓話ありがとうございます。楽しみにしています。
宜しくお願い致します。

*新海正人会員⇒吉田様、奥様ようこそお越し下さいました。今回もご講演宜しくお願い致します。

*波多野晃夫会員⇒吉田和敏様、博子様ようこそお越し下さいました。卓話宜しくお願い致します。
結婚月を祝っていただきありがとうございます。

*倉内淳会員⇒吉田和敏様、博子様ようこそお越し下さいました。本日はありがとうございます。卓話楽しみにしていました。宜しくお願いします。

◆今回計30,000円 累計 477,000円

卓話



「JBCレフェリーとして」 吉田 和敏 様

前回は、ボクシングをしていた現役の時の話しをさせていただきました。今回は、「レフェリーの話し」をします。僕はボクシングのお蔭でたくさんのこと学びました。いっぱいの自信、いっぱいの友達、その上ボクシングが縁でみなさんももらうことができました。いつかボクシングに恩返しがしたいと思うようになりました。

ボクシングを辞めて10年程がたった30代半ばの時にレフェリーの一般公募があり「これだ!恩返しにもなり、もう一度リングにも立てると思いました。ライセンスも簡単に取れるもんだと思っていました。でも、甘くなかったです。

ライセンスを手に入れるのに、書類選考、面接、筆記試験、これらにパスしてからが本当のスタートです。もう一度走り始めました。身体を鍛え直しました。それも確かに大変でしたが、一番の苦労は、時間を捻出することでした。後楽園ホールで試合はある日、実習生のプレートを付けリングサイドに座ってジャッジをします。その採点表をコミッショナの方々に提出、正しい採点ができているかチェックされます。月2回のプロテストの時には、スパーリングのレフェリーをします。コミッショナの方々が、プロボクサーを目指すテスト生の力量を観察するのと同時に僕たち見習いレフェリーの動き、ポジショニング、声、あらゆる適正をチェック、一年間振るいに掛けられ、やっとこさっこライセンスを手にいれることができたのです。その間、困ったことも、慌てたこともあります。ジャッジの勉強の帰り、水道橋の駅前交番のお巡りさんに職務質問を受けたことがあります。なぜだか分かりますか。ワイシャツが赤く染まっていたのです。出血した選手の血が飛んできていました。こんなこともありました。プロテストのレフェリーをしている時に、コミッショナの方が走ってきて「吉田君、すぐリングを降りなさい。お母さんが倒れた」ビックリしました。「おかちゃん大丈夫。おかちゃんがんばって。」そう祈りながら病院に駆けつけました。もうこれで、すべて終わりだ。覚悟しました。幸い大事に至らなくてよかったです。レフェリーに挑戦していることは、内緒にしていました。ライセンスが取れるまでだれにも、かみさん以外には。かみさんには、感謝しています。家族一緒に時間を大幅に削った上、旦那の我儘を聞いてくれた。それとも、諦めですかね。前回お話ししたようにレフェリーは、リングの上でレフェリー、リングの下で採点をするジャッジ両方をします。そのライセンスは、A級、B級、C級に分かれています。これは、ボクサーと同じです。C級は4ランド、B級は6ランド、A級は8ランド以上。僕はレフェリーのライセンスを取得して2年になります。5年目にC級からB級を飛び越えてA級になりました。

あの頃、きっとうぬ惚れがあったんですね。

ある日、コミッショナの方にこう戒められました「吉田君、A級になったからって、まだ一流じゃないんだよ。日本タイトルマッチのレフェリーをしたら一流。世界タイトルマッチのレフェリーをしたら、超一流なんだ。そして、一流の仲間入りをするチャンスがやってきました。

2009年2月25日、満員の後楽園ホールでした。試合は、挑戦者が2ランドでノックアウト勝ち。新チャンピオンになりました。思い出すと「蘇つた、求めていた素晴らしい緊張感、やり終えた後の充実感。まさにレフェリー冥利に尽きます。実は注目されたカードだったのに、テレビ中継がありませんでした。それがわからないものですね。ちょうど1ヶ月後、このタイトルマッチがゴールデンタイムのバラエティー番組「所ジョージの笑ってこらえて」で放映されました。放映を観たたくさんの方から連絡をいただきました。とっても嬉しかったです。僕がレフェリーになって初めて声を掛けたださったのが輪島功一さんです。「吉田さんでしょう、おめでとう」とても温かい人です。みなさんは女子プロボクシングがあるのはご存じですか?男子と大きく違う点が2つあります。1つはラウンド時間です。男子は3分で女子は2分です。もう1つは、選手にタッチしてはいけないことです。

2012年12月新宿フェイスでの試合で、ダウンをした選手からパンチをもらってしまったことがあります。試合後にラーメンを食べようようしたら、痛くて口があきませんでした。また、着てきたコートを試合会場にボーッとしていて忘れてきました。朝起きると左のほっぺたが大きく腫れあがっていました。※

「レフェリーの災難 吉田和敏」でネット検索してください。カウントは選手がダウンしたところからスタートします。しかし、レフェリーが声をだしてカウントをするのは、3ないし4からです。レフェリーはダウンした選手のダメージを図り、ダウンを奪った選手をコーナーへ下げなくてはなりません。その間、リングサイドにいるタイムキーパーとリングアナウンサーが協力してカウントを数えてくれています。このことは、お友達に話してください。ボクシング通とピックリされます。

レフェリーには不文律があります。試合の前日にアルコールを口にしてはいけないことです。選手の気持ちでリングにあがります。

レフェリーになって22年ずっと守っています。この後、吉田講師と一緒にシャドーボクシングをしました。ありがとうございました。

プロボクサーのライセンス得て、リングへ上がらないボクサーがいます。私は負けても泣いてもリングへ上がるボクサーが好きです。応援いたします。レフェリーのポジショニングは、選手と選手を結ぶ二等辺三角形の頂点にいます。そしてボクサーの動きに集中します。試合中、ボクサーもレフェリーもジャッジも集中します。ジャッジの1ポイントでボクサーの人生が変わります。レフェリーの1秒のストップの声の遅れでボクサーが命を落とすことがあります。みんな真剣勝負です。試合中、レフェリーに選手がまだ出来ると自分で訴えてくるときがあります。しかし、ちょっと前にストップを掛けます。

人生は長いです。選手生命は短いです。残りの人生でボクシングから得た経験を語ってほしいです。



◆10/7(月) RLIパートIが藤野会員ファシリテーターのもと、立川グランドホテルにて開催されました。
(佐藤幹事、倉内会員・阿久津会員出席)

*武藏野・多摩立川グランドホテル開催予定
パートII 11/20(水) パートIII 12/12(木) 卒後1/31(金)